



所感 地域に生きる



副支部長

村上 光市

第 92 号

福島県退職公務員連盟 郡山支部 富永孝夫 印刷 (株)上田印刷 TEL 922-4342



令和5年度より副支部長の任を与えられました。重責ある立場となりましたが、皆さんの期待に添えるかどうか不安でいっぱいです。本会の事業計画にある4つの基本方針に基づき会員の皆様と共に活動していきたいと思えます。自分が安心でき、健康な身体で生活できることが大事であり、肩肘張らず、あくせくせずよい年をとつていこうと思えます。

赤木町に生まれ育ち、現職時はあちこち転居しましたが50歳の時に戻って来ました。隣の方に「よく帰って来たな」と言われ、うれしかったことを憶えています。でも、その方はその後、近くのマンションへ転

居されました。昔から居住されている世帯はごくわずかになり、顔も知らない方が近所には多くなりました。そして、いつしか老人の多い町内となってきたのです。この町内には、コンビニや小売店がありません。多くの方は郊外まで徒歩や車で行かなければなりません。買い物難民と言わざるを得ません。若く、動けるうちは良いのですが、年離れた女性を見るにつけ気の毒になります。駅前方面へは下り坂なのに、帰りは荷物を抱えて登ってきます。「行きはよいよい帰りはこわい」です。最近騒がれている運転免許返納もままならないようです。これからますます

ご近所さんとのパイプを太くし、良い意味でのコミュニケーションができるようにしたいものです。

町内の役員をすることになって、見守り隊の役も回ってきました。新一年生の下校時に付き添い、安全に帰宅できることが目的です。下校時刻に昇降口前で「さようなら」のあいさつで各町内毎に見守り隊に導かれ帰路につくのです。留守家庭児童クラブに残る児童もいて、赤木は3名と少ないです。途中まで行くと母親や祖父が迎えに来て合流。子どもたちの表情も和らぎます。入学当初の危なっかしい動きから、今では私を労う言葉もできました。今では逆に私が子どもたちに見守られているかのようです。

各地域公民館では男性を対象とした講座が開かれています。文字通り男性のみで、退職後の社会参加を促す意味で始められ定着しているようです。初めの頃は参加者が少なかったのですが、今では顔なじみで気心の知れたメンバーで活動し易い人数です。今まで知らなかったことや経験したことのない活動内容に対して、仲間と競い合ったり、助けられたり、袖振り合いながら楽しく活動できることは、この上ない喜びです。地域の中で他を思いやり少しでも地域に貢献していきたいと思っています。

祝 百歳賀寿



渡邊 良才様 (21-1方部 鶴見垣)

令和5年9月5日の満百歳の誕生日当日、賀寿表彰と記念品をお届けしました。感謝の言葉と、①「稼ぐこと」、すなわち庭の芝生や植木の手入れ等で体を動かすこと②新聞や週刊誌を毎日「読むこと」③百歳の長である「晩酌を欠かさないこと」。この3つの長寿の秘訣を顔色も良く語ってくださる良才様は、百歳とは思えぬほど豊饒とされてました。(事務局 小林)

祝 受章 受賞

◇高齢者叙勲

☆瑞宝双光章 安濃 徳雄様 (65方部・上亀田)

☆瑞宝双光章 大竹 範昌様 (99方部・富久山町)

◇危険業務従事者叙勲

☆瑞宝双光章 吉津 等様 (70方部・緑ヶ丘東)

◇郡山市特別表彰

【教育・文化興隆の功労】 深谷 秀三様 (100方部・富久山町)

【教育功労者】 皆川 晃様 (99方部・富久山町)

【教育功労者】 森山 道明様 (21-2方部・鶴見垣)

◇郡山市教育委員会表彰

【教育功労者】 皆川 晃様 (99方部・富久山町)

【教育功労者】 森山 道明様 (21-2方部・鶴見垣)

◇郡山市教育委員会表彰

【教育功労者】 皆川 晃様 (99方部・富久山町)

【教育功労者】 森山 道明様 (21-2方部・鶴見垣)

【教育功労者】 森山 道明様 (21-2方部・鶴見垣)

【教育功労者】 森山 道明様 (21-2方部・鶴見垣)

未来に向けての 大きな課題



郡山市小学校長会
会長 近藤 静雄
(金透小学校長)

人口減少、高齢化社会、教員の多忙化等により、全国的に教員が不足しており、大変大きな問題となっています。今後もさらに深刻化する可能性があります。そのことにより、児童生徒への十分な指導・支援が行き届かなくなることで、教員の負担がさらに増加し心身の健康が心配であること、教員のさらなる多忙化や質の低下により教育の質も低下するなど、多くの深刻な問題が予想されます。教員不足は、子ども達の支援や教育の質を維持・向上のため、さらには、よりよい未来を創造するために、なんとしても克服しなければなりません。そのためには、国・県・市町村はもちろんのこと、家庭・地域・学校が一体となって取り組むことが重要です。各学校は、これからも引き続き努力してまいります。

現職の賛助会員から

これ2年間は、週末に孫の面倒を見ることが多くなったので行っていないが、その前までは3年間ほど、どっぷりとはまった。趣味の少ない私がつたまたまテレビ番組を見て「これだ」と思い立ち、一気に最低限必要な道具を買いそろえ、猪苗代湖畔のキャンプ場でデビューした。

それぞれのお立場で、多くの方が自分事として捉え、ご支援いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

ソロキャン



郡山市中学校長会
会長 早崎 保夫
(郡山第二中学校長)

ソロキャンは、子どもの頃、川原や山の中で秘密基地を作って一人遊びをした感覚に似ている。キャンプ場について、テントを設営し、バーナーでお湯を沸かし、コーヒー豆を挽いてドリップして飲む。食事は簡単に済ませ、あとは時間の許す限り焚き火。これまで焚き火台だけで7台は買い換えた。焚き火を眺めている間は、体中に纏わり付いた仕事や立場の呪縛から解放される。この時間を満喫するためにイスだけは少し贅沢をした。今は孫とのキャンプを夢見ている。

福島県高等学校長協会
福島支部長
鈴木 芳人
(安積高等学校長)

未来の夢に向かって



福島県高等学校長協会
福島支部長
鈴木 芳人
(安積高等学校長)

会員の皆様には、本県教育に御支援を賜り、感謝申し上げます。

令和5年5月にコロナウイルス感染症が5類相当となり、学校はようやく通常の形を取り戻しました。3年余りのコロナ禍の間、ICT機器の活用等、新しい教育のあり方が進

賛助会員の皆様へ

令和5年度も退職公務員連盟郡山支部の賛助会員として、多数の現職の方々にご加入いただきました。誠にありがとうございました。令和5年度の加入状況は、次のとおりです。

	加入者数	賛助会費	備考
小学校	739名	147,800円	45校
中学校	435名	87,000円	22校
義務教育学校	17名	3,400円	1校
県立学校	14名	2,800円	4校
計	1,205名	241,000円	72校

現職の方々の温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。皆様から頂く会費は貴重な活動財源として活用させていただきます。

福島県退職公務員連盟は、(財)日本退職公務員連盟(会員数約13万名)に加盟する全国規模の組織で、退職後の生活の安定と充実のため、

- 公務員年金制度の堅持及び充実を要望
- 社会保障制度の充実と負担の軽減を要望
- 地域での社会貢献活動の推進
- 会員相互の親睦活動と福利厚生事業の推進

の4点を指針として活動しております。現職・退職にかかわらず、公務員の処遇改善に向けて陳情を重ねるなど、鋭意、努力しているところです。

郡山支部(会員数498名)においても「年金を守る」「社会に貢献する」「親睦を深め元気に生きる」を目標に活動を重ねております。

退職後は、ぜひ入会され、各種行事や会合に参加していただきますようお願いを申し上げ、報告並びにお礼といたします。ありがとうございました。

展いたしました。一方で、コロナに端を発したものが明確なエビデンスはないものの、不登校児童・生徒が増加の一途をたどるなど、新たな課題も生じております。
社会に目を向ければ、日本経済の低落傾向や世界各地での戦争など、子どもたちの心に陰を落とす話題が数多くあります。課題が尽きない中で、どのように取り組めば、児童・生徒が自分の未来の夢に目を向けてくれるか、教育の大きな使命です。
皆様には今後とも御指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

秋の紅葉 山形&蔵王の旅



〈斎藤茂吉記念館前で〉

10月19日、快晴の秋空のもと31名の多くの会員の参加を頂き退公連郡山支部会員研修旅行を実施しました。東北自動車道・山形自動車道を経由して一路、山形県上山市へ。閑静な佇まいを見せる斎藤茂吉記念館が私たち一行を迎えてくれました。茂吉については、アララギ派の歌人であることぐらいの予備知識しか持っていないままでしたが、館内の資料の数々から精神科医としての輝かしい業績、「写生」を旨とした歌人としての在り方、絵画にも才能を発揮していたその生き方の一端に迫ることができました。1時間弱の見学でし

たが「文化の秋」の研修に相応しい濃密な時間を過ごす事ができました。山形県はこんなにやく消費量日本一。昼食場所となつたのは上山市の老舗のこんにやく専門店でした。懐石料理として振舞われた十品はいずれもこんにやく由来の品々でバラエティに富んだ味とその出来栄えを目と舌で存分に楽しむことができました。蔵王エコーラインを上ること30分ほど。標高が増すほど午後の日差しを受けた赤や黄色の木々の葉があざやかさを増してきます。紅葉の真つ盛りの中を左右にカーブしながら分け入っていくバスの中では歓声が沸き起こりました。山頂の駐車場から徒歩で御釜展望台へ。日が差してはいても山頂付近は風が強く肌寒さを感じました。脚力に自信のある方はさらに上の刈田岳山頂にミニチャレンジをしました。山頂から見下ろした雄大な景色と御釜のエメラルドグリーンが強く心に残りました。たくさんの秋を満喫しきった一日でした。次年度も楽しい研修旅行を企画したいと考えております。たくさんの方の参加をお待ちしております。

(事務局 小林)

◆年金部◆

予約相談について

受給開始をいつにすると得するかなど年金に関する疑問は結構多いものです。そんな時には全国の年金事務所や街角の年金相談センターで実施している「予約相談」の利用をお勧めします。予約なしでも相談できますが、その場合予約者優先なので、待たされる場合もあります。予約をしておけば担当者は事前に準備ができ、相談がスムーズに進みます。参考までに「郡山年金事務所」の概要を載せておきます。

- 所在地 (ニコニコ子ども館北側)
- 〒963-8545 郡山市桑野1-3-7
- 電話 024-93213434
- 停留所 「郡山市役所」下車5分
- 駐車場 35台
- 受付時間
 - ・月曜から金曜 午前8時30分～午後5時15分
 - ・週始め開所日 午前8時30分～午後7時
 - ・第2土曜日 午前9時30分～午後4時

【必要書類】

- 本人を確認できる書類(運転免許証やマイナンバーカード等)
- 基礎年金番号がわかる書類(年金手帳・年金証書等)

(年金部長 吾妻伸介)

◆女性部◆

活動に喜びを見つけて

◆絵手紙に思いをこめて◆
8月30日、会員から集めた絵手紙を、会に出席できない先輩の方々と新会員、合わせて32名にみんなの思いをのせてお送りしました。
▲せいわ園訪問について
今年も、訪問活動は中止でした。11月10日、部長他3名で支援金と寄せられた支援物資等を届けてきました。来年こそはと願いつつ！

◆ふれあいコンサート◆
10月11日、市公会堂にて、原千津子さん、横田逸朗さん、川村彰子さんの3人の音楽家によるコンサートが、65名の参加により開催されました。素敵な歌声に酔い、芸術の秋にふさわしいひと時となりました。(三瓶)



〈ふれあいコンサート〉

♪すてきな時間♪

佐野 祐子

「すてきな時間だったなあ。」
「ふれあいコンサート」が終わった時にしみじみと思いました。

ソプラノの原さんとテノールの横田さんの独唱・二重唱がとても素晴らしかったのです。日本歌曲とイタリア歌曲を、澄み切ったソプラノ、深く響くテノールで演奏してくださいました。曲の紹介を織り交ぜながらの進行で、情景を思い浮かべて聴くことができました。川村先生のピアノ伴奏もそれぞれの曲に合う表情で、素晴らしい演奏でした。

そして、「はるかぜ」の仲間との合唱。練習を重ねた4曲を歌いました。適度な緊張感と、みんながいるから大丈夫という安心感がありました。きつと、いつもの練習より上手く歌えたと思っています。大堀先生の指揮に吸い込まれるような感じ、気持ちよく歌うことができました。

さらに、懐かしい知り合いの方々が聴きに来てくださり、久しぶりの再会ができました。休憩時間には、近況を話し合うことができて、とても嬉しかったです。

来年の「ふれあいコンサート」では、どんな曲を聴けるだろう、どんな曲を歌うのだろうと今から楽しみです。

◆福祉部◆

教員講座(講演会) OPENING
開成山競馬の歴史 参画フエサ

元日本大学教授の矢部洋三先生から「開成山競馬の歴史」について講話をいただいた。開成山の歴史は、地元の我々もあまり認識がなく、興味深い話だった。開成山公園では明治37年から昭和31年まで約半世紀以上競馬が春秋2回開催され、安積地方や県南地方を中心に県民の憩いの場であった。これは産馬振興のため、競馬場が設置され県内各地から数万人を集め、地方競馬として全国屈指の盛り上がりがあった。当時は日本鉄道・岩越鉄道の福島、白河間と郡山駅の運賃を2割引の臨時列車を出すなど大きな賑わいを見せた。しかし昭和31年政府の定める公認競馬場の要件を満たせず廃止となった。要因は郡山の事業継続力が弱く、福島



〈講演会(円内は講師の先生)〉

競馬との競争に負けたためだ。これは今後の郡山発展を考える上で大切なことだ。
(熊田)

楽しい料理教室

吾妻 伸介



9月28日午前、福祉部主催の料理教室に参加してきたので、その様子をお伝えします。

場所は、学校法人今泉学園の調理室。真新しい調理室で、講師は校長の今泉玲子先生。参加者は11名で、3班に分かれて実施しました。

内容は「ひとり料理 一家にある食材でさつと作れる」で講師の先生の説明をもとに、調理を進めました。参考まで献立と材料・作り方を紹介します。ぜひ作ってみて下さい。

〔献立1〕野菜の鶏そぼろ煮
里芋 50g・鶏ひき肉 150g・青味印元・ブロッコリー・オクラ等少々・調味料(さとう大さじ2・酒大さじ1・しょうゆ大さじ3.5・カレー粉小さじ2)

作り方 ①里芋は皮をむいて一口大に切り、ひたひたより少なめの水にひたす。②鍋に入れ火にかけて煮る。大体煮えたら鶏ひき肉を入れてかきまぜ、浮いたあくを取り、調味料を入れて、こがさない様に煮る。③青味を色よく塩ゆでして盛りつけた所へ添える。
〔献立2〕三平汁
塩鮭2切(あらだけでも)じゃが

芋1個・大根・人参・生しいたけ・こんにゃく・ねぎ・出しこぼ

作り方 ①鮭は大きめのぶつ切り、じゃが芋は皮をむいて大きめのぶつ切り、人参は厚めの短冊、しいたけは1cm幅、こんにゃくは一口大にちぎる。②鍋に出しこぼと水500cc、鮭、じゃが芋、こんにゃくを入れ、火にかけて沸騰寸前でこぼを取り出してあくを取り、人参・しいたけを入れて弱火で煮て、酒・塩少々入れて味をみて斜め薄切りのねぎを入れる。

〔献立3〕かぼちゃの茶巾しぼり
かぼちゃ 300g・さとう 50g・塩少々

作り方 ①かぼちゃは皮をむき乱切りにし蒸し器で蒸しつぶす。②鍋にかぼちゃ・さとうと塩を入れ火にかけてねりあげる。③ぬれ布巾に入れ形を作る。

分かりやすい説明と的確な指示及び参加者の意欲でどの班も上出来で、最後に会食をしました。皆さん大満足で早足家でもやってみようと言っていました。



〈始まる前の挨拶〉

生きがいを求めて

—わたしの近況・心境—

錦鯉に恋して五十一年



箭内 政勝
(67方部)

錦鯉の飼育をして、面白いのは稚魚と当才魚（その年に生まれた魚）は、成長と共に変化する模様と質が水質によって、大きく左右される事です。その水質をどのようにして、良い状態に維持するかが苦勞する所です。私はそのために、毎日続ける事・一週間毎にやる事・一ヶ月毎にやる事を決めてやり続けてきました。また、この稚魚や当才魚は将来良くなるだろうと私なりに見極めて育て、品評会に出品し入賞した時の喜びも、今まで続けてこられた原動力になったと思います。

今まで県大会、東北大会、全国大会に出品し賞を取ってきましたが、忘れられないのが、全日本愛鱗会全国品評会で取った「若鯉全体総合優勝」です。若鯉とは30cm以上45cm以下の大ききの鯉の事です。この賞は東北6県の愛鱗会で未だ誰も取って

いません。

写真の鯉は、将来楽しめるかなと思つて、15cmから育て、現在2年目で48cmになっています。

なんだかんだ言つても妻の理解があつたからこそ続けてこれたのだと思います。この場を借りて妻に感謝をしたいと思つています。感謝・感謝！



おすすめイベントと

日帰り旅行



橋本 善之
(65方部)

退職して4年目。両親の病院への送迎・付き添い・週2日の仕事（企業検診の業務補助）の合間をぬつてイベントに参加したり、旅行に出かけたりしている。これまでに参加したおすすめイベントとその内容。そして旅行プランをまとめてみた。

イベントの情報は『広報こおりやま』。広報が届くと赤ペンを手に読み進め「これだ」と思った記事を赤

ペンで囲んでいく。結構いろいろなイベントが紹介されている。

「男の料理教室」※久しぶりの調理実習でゴーヤチャンプルやピザを真剣に作った。「みそづくり教室」※できあがった味噌の味は絶品。3年続けて参加している。「梅干しづくり体験」※西田町の梅園での収穫と梅干しづくり体験。

おすすめ旅行プランはJR東日本の『大人の休日倶楽部パス』を使うもの。郡山駅を起点に4日間、日帰りで出かけている。一例をあげると、1日目、青森県三内丸山遺跡と大間のまぐる。2日目、秋田県男鹿市のあじさい寺「雲昌寺」と稲庭うどん。3日目、長野県善光寺と信州そば。4日目、東京駅出発のはとバスツアーで浅草の天ぷらと柴又のうなぎ。4日間で15000円程で新幹線、在来線が乗り放題。日帰りだと宿泊のための荷物がなく、身軽な事が利点。動けるうちにあれこれ楽しんでいきたいと思つている。



〈雲昌寺にて・あじさい〉
令和5年6月末

日々の充実を目指して！



小林 ミヨ
(52方部)

昭和37年、南会津を初任地として7つの中学校に勤務した。音楽教科を担当したので、吹奏楽部の指導にあたる事が多かった。振り返ると音楽指導を通しての子どもとの思い出は多かつたように思う。

退職後は、2つの公民館に7年間勤務させていただいた。地域の方々とふれあひの場は、本当に温かくて毎日が充実した日々であつた。



〈春の公園にて(仙台市)〉

80歳を超えた今でも自身で立ち上げたノルデッククラブを月2回行い

楽しく参加している。また、長年続けていた写真撮影は、2つのクラブに所属して活動している。車の免許を返納してからは、回りの友人に支えられ何とかクラブに参加させていた。それぞれの写真展に展示する作品を目指してシャッターを切っているところである。

先日思いもよらぬ病状に見舞われ、2週間の検査入院を余儀なくされた。しかし、親戚や友人の手厚いお世話で無事退院することが出来た。今後も日々の生活の充実を図りながら過ごしたい。



伊東 利幸
(25方部)

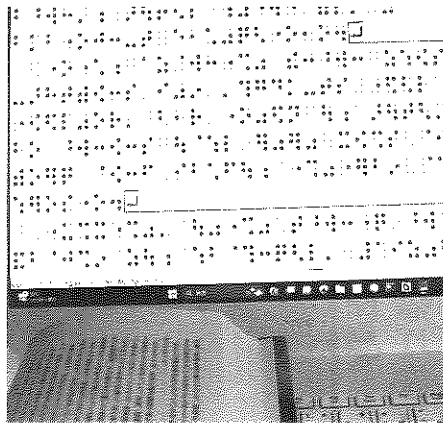
一冊でも多い点訳本の作成を目指して

朝食後、一休みして落ち着いたらパソコンを起動する。左わきに本を置いて画面の中に点字を打ち込んでいく。午後も一、二時間は作業を続ける。これが最近、日々繰り返される私の一日のルーティンです。

現在、私は視覚に障害を持つ方々が読む点訳本を作成するボランティア活動をしています。点訳本というのは図書の一字一句を点字で打ち込

んだ本のことです。昔は点字用具を使って作っていましたが、今はパソコンで打てるようになり、しかもその内容が、即、電子データとなるので点字プリンターがあつて出力することができれば、全国どこでもその点訳本を読めるようになりました。

このひと月は最終校正の原稿の修正と次の本の点訳が重なり、てんてこ舞いの状態が続いています。しかし、つい最近、目を酷使し続けたせいか目を痛めたことがあつたので、ここの所はあまり根を詰めないように気を付けながら作業をしています。



〈小説を点字に翻訳〉

一冊の本の点訳が完成するまでにはほぼ8カ月半かかります。今は6冊目の本の点訳中ですが、元気なうちになんとか2桁以上の本を点訳することを目標に、毎日本やパソコンの画面とにらめっこしています。

会員の作品

カメラに魅せられて



小林 栄
(36方部)

前々から誘っていた「彩景会」と言う写真クラブに退職と同時に入会しました。元々観葉植物を育てる趣味があり、何とかその美しさを残したいと言う気持ちもありました。毎月1回の研修会では、普段から撮りためた写真を持ち寄り、会員同士で感想を述べ合ったり、講師の先生から助言を頂いたりして楽しく参加しています。春と秋の現地での撮影会では、直接の指導を受けるいい機会に



笑み(観音寺)

なっています。また毎年写真集を発行する担当者としても有意義な時間を過ごさせて頂いています。

新入会員のお知らせ

令和5年9月以降の郡山支部新入会員を紹介します。

- 小林 真さん(22方部・鶴見垣)
- 小笠原慶子さん(26方部・台新)

お悔やみ申し上げます

(令和5年8月〜6年1月)

- 赤沼千恵子様 甲斐山義弘様
- 満山 和三様 大桃香代子様
- 渡邊 捷司様 高原 一三様
- 伊藤 薫様 安部カツヨ様
- 斎藤 實様 吉田 義邦様
- 室井タツ子様

編集後記

今年「辰」年。太陽が昇る「東の守り神」であり、「開運」「家内安全」の年でご利益があるという。しかし今、石川県をはじめとして自然災害に見舞われた地域では、大変な時期を迎えている。心からお見舞い申し上げますと共に、「登り竜」のように一日も早い飛躍の復興を望みたい。ご多用の中、ご寄稿頂いた皆様には心より御礼申し上げます。

広報委員

- ・ 鷺田 洋
- ・ 佐藤ノブ子
- ・ 大越 清美
- ・ 遠藤 佳子
- ・ 渡辺 和宜
- ・ 齋藤 榮子
- ・ 武田 修一